

2020 年度実施概要

学校名

八戸市立大久喜小学校

採択活動名

ふるさと大久喜の海を見つめ直そう ～海の恵みを体感する活動を通して～

実施単元

単元名	学年	教科
1. 海の幸（ウニ博士になろう）	3・4年	総合的な学習の時間
2. 大久喜の宝・海～ウニの生態を通して～	5年	総合的な学習の時間

取り組みの概要

本校は、八戸一海に近い学校として、教育課程の中に海に関わる様々な活動を取り入れてきた。その活動を、複式学級の中で効果的に扱えるように、生活科や総合的な学習の時間の年間計画を見直し、学習内容や学習方法の工夫・改善を図ることで、ふるさと大久喜の海の恵みが、昔から現在に至るまでの多くの人々の生活を支えてきたことを再認識し、郷土の海を愛する気持ちが強くなると考えられる。そこで、今年度は、大久喜の海の歴史や現状についての理解を深めさせ、積極的に海とかかわっていく心情を育む目的で、大久喜の海の恵みである「ウニ」を通じた探究活動を行った。海との関わりを考えさせる中で、来年度以降に実施する予定の環境教育に発展させていきたい。

実施内容

- ウニの殻剥きをし、食べる活動（1～6年生）
 - これまで行ってきたウニの殻剥きの活動を通して、ウニの生態に興味をもたせる。
- ウニの生態を調べる活動（3～5年生）
 - 書籍を利用したり、タブレット端末を使用しインターネット検索を行ったりすることにより、ウニの生態を調べる。
- ウニの生態について調べたことへの理解を深める活動（3・4年生）
 - 八戸水産科学館マリエントを見学し、インタビュー活動等を行い、ウニの生態についての理解を深める。
- 昔のウニ漁の仕方を調べる活動（3・4年生）
 - 学校隣接の浜小屋学習で、地域の方から昔のウニ漁について話を聞く。
- ウニを育て、観察する活動（5年生）
 - 漁港で採取したウニを実際に飼育し、これまで調べたことを検証する。
- 大久喜の海の生物と久慈市の海の生物を比較する活動（1～6年生）
 - 久慈地下水族科学館もぐらんどを見学し、両市の海の生物を比較し、ふるさと大久喜の海への理解を深める。また、北限の海女がウニをとる活動を見学することでウニ漁についての理解を深める。
- 調べたことへの情報を発信する活動（3・4年生）
 - これまで調べたことを学習成果発表会の場で、様々な方法を使って発表する。
- 大久喜の海の環境を調べる活動（5年生）
 - ウニが育つ環境にある大久喜の海（漁港や海岸）の水質や地形、生育する生物の状況を調べ、自分たちの身近な海の現状と問題点を考える。

活動中の写真

